



## 桐生川源流林

桐生市の北に位置し、みどり市と栃木県佐野市に跨る根本山（1,199m）。そこから流れ出る桐生川に沿って広がる桐生川源流林は、「森林浴の森日本100選」の一つに数えられている。

「森林浴の森日本100選」は日本の森林を21世紀に引き継ぐことを目的に、1986（昭和61）年に林野庁・緑の文明学会・地球環境財団が共同で選定した。熱帯雨林の急激な減少とともに酸性雨等による森林の減少・劣化に対処するため、1985（昭和60）年に国連が定めた「国際森林年」に呼応したものであった。今でこそ浸透している『森林浴』という言葉も、この事業をきっかけに広まったとされている。桐生川源流林は応募総数53,150点、800か所の中から選ばれた、世界に誇るべき自然資源である。

源流林には多種の樹木が群生し、溪流にはイワナやヤマメが棲息する豊かな自然環境を持つ。春の新緑、夏の清涼、秋の紅葉、そして冬の澄み切った空気に時折見せる雪景色と、一年を通じて人々を引き付ける。「水源の森百選」にも選定され、透明度の高い清流と木々が織りなす絶景を写真に納めようと、カメラマンにも人気のスポットである。

周辺には信仰の山として登山道も整備される根本山をはじめ、ボートや釣りを楽しめる梅田湖など、アウトドア・アクティビティも充実。また、青少年と自然とを結ぶ桐生市青少年野外活動センターや豊富な遊具が整備された梅田台緑地公園、地元の特産品を扱い、手打ちそばやうどんを振る舞う梅田ふるさとセンターなどもあり、多世代が訪れることができる。

市街地から車で数十分という距離に位置し、コロナ禍での外出自粛や近年のアウトドアブームが重なり、源流林には多くの人々が訪れている。一方でそれに比例するように、ルールやマナーに反する行為も目立つようになってきている。源流林から流れる桐生川の清流は、桐生の織物業を支え産業を育んだ。まちの発展にも貢献した地域が誇る癒し聖地を、これからも大切に守っていききたい。

●場所／桐生市梅田町5丁目地内



木々と清流が織りなす癒し  
守り続けたい森林浴の森